

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	東京工業大学
申 請 区 分	タイプB
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は、学士課程修了生の約9割が大学院に進学するという理工系大学の特徴を踏まえて、大学院においてグローバル人材として必要な能力を獲得するための十分な準備ができるように、従来の専門領域の枠を越えた学士課程の教育プログラム「新興国の科学技術の発展に貢献できる人材の育成・学士コース」を新たに構築するという提案である。新コースは「国際意識醸成プログラム」、「英語力・プレゼンテーション力強化プログラム」、「科学技術を用いた国際協力実践プログラム」、そして「実践型海外派遣プログラム」により構成されており、育成する人材像は明瞭で、卒業時の外国語力スタンダードも十分挑戦的かつ実現性のある設定値である。また、7つの全学的教育改革と連携してプログラムを実施するとしており、理工系大学におけるグローバル化の一つのスタンダードモデルの構築が期待できる。</p> <p>しかしながら、語学力強化プログラムは具体的であるが、その他のプログラムの内容がやや不明確であり、プログラム実施に当たって更なる検討が望まれる。また、新興国をキーワードにしていることは重要であり、新興国で活躍する上で必要な能力とその育成方法についても一層の検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	